



2018年9月5日「奥浅草だより」第12号

「さんやカフェ」は山谷の道標

夜カフェの営業開始

8月18日にナイトカフェのオープニングイベントがありました。アルコール類、イタリア人シェフによるディナーもメニューに加わりました。カフェのオーナーであり運営者、通称「マゴさん」の人的ネットワークの幅を感じさせる人々が集まりました。外国人や若者に加えて、近隣の商店会関係者、老舗料理店のオーナー等です。ドヤのオジサン達は、夜の行動が苦手らしく不在でしたが、山谷の街づくりのための「入り口」としてこれからも進化を続けると感じさせるイベントでした。

山谷はこわい？

「カフェ」では『山谷お散歩マップ』を発行しています。山谷のシンボリックな労働者福祉会館、ホームレスのメッカである玉姫公園、天然温泉の銭湯、珈琲店のレジェンド、居酒屋の人気店等がシンプルに紹介されています。山谷のドヤ街、商店街、(元)労働者の街としての歴史的な雰囲気を実感する手引きになります。散策中に山谷のオジサンたちを、無断で被写体のモデルにすべきではありません。これは基本的な写真愛好家のエチケットです。カフェが入っている、ホテル寿陽は10階建てで主に外国人旅行者・バックパッカーが利用しています。安価で清潔で、山谷の中心部に位置しています。外国人旅行者との接点を見いだせるスポットでもあります。にぎやかなオモテ浅草と比べて、静かな奥浅草での滞在が可能です。

~~~~~

この「浅草だより」は『奥浅草 地図から消えた吉原と山谷』の発行後、話題を拾って不定期に発行しております。サノックスのホームページからもご覧になれます。 <http://www.sanox.co.jp>

佐野陽子・江原晴郎・森下恒子